



支えあいチーム四中通信

第4号 新年号 2026年1月1日

謹賀新年  本年も良い一年でありますように！

♡支えあい活動の推進の柱は区・自治会です。向こう3軒両隣でお互い様の地域を！
地域の区・自治会長、民生児童委員さん、サロンやシニアクラブの中心者などが集い、6月に引き続き第2回目の情報交換会が11月15日(土)午前10時からわろうべの里で開催しました。参加者からの発言をもとに区・自治会の課題を共有しつつ、活発な意見交換が行われました。参加者の皆さま、有難うございました。

<参加者のご意見、アンケートから>

- ① 役員のなり手不足の問題が常態化
- ② 子ども会と自治会のコラボで若手が自治会に参加するようになった。
- ③ イベントは役員の負担が大きいが、自治会離れの防止に役立つ。
- ④ 若い自治会長の発言に賛同の声が多数。
- ⑤ 活発な自治会は、一年交代の会長ではなく、継続している場合が多い。
- ⑥ 顧問として次年度も関わることが効果的、幾つかの自治会ですでに実施している。

<来年度に向けて>

- ① 今回の情報交換会に若い参加者の能力の高さを感じた。
 - ② 無償のボランティアだけにこだわらず、なんらかの報酬もあっても良いのでは。
 - ③ 近隣自治会がどのような活動をしているかを聞ける機会は貴重なので、継続してほしい。
 - ④ 各自治会の悩みを協働して解決できる取り組みがあるといい。
他、同様な前向きな意見が聞かれました。
- みなみ地域包括神澤センター長より学区内の相談内容として介護に関する相談が多く、特に認知症、介護方法等で対応内容としては、相談・傾聴を行いながらアドバイス等をしていると説明がありました。
 - 四街道警察生活安全課より特殊詐欺から守るアドバイスなど大変参考になりました。



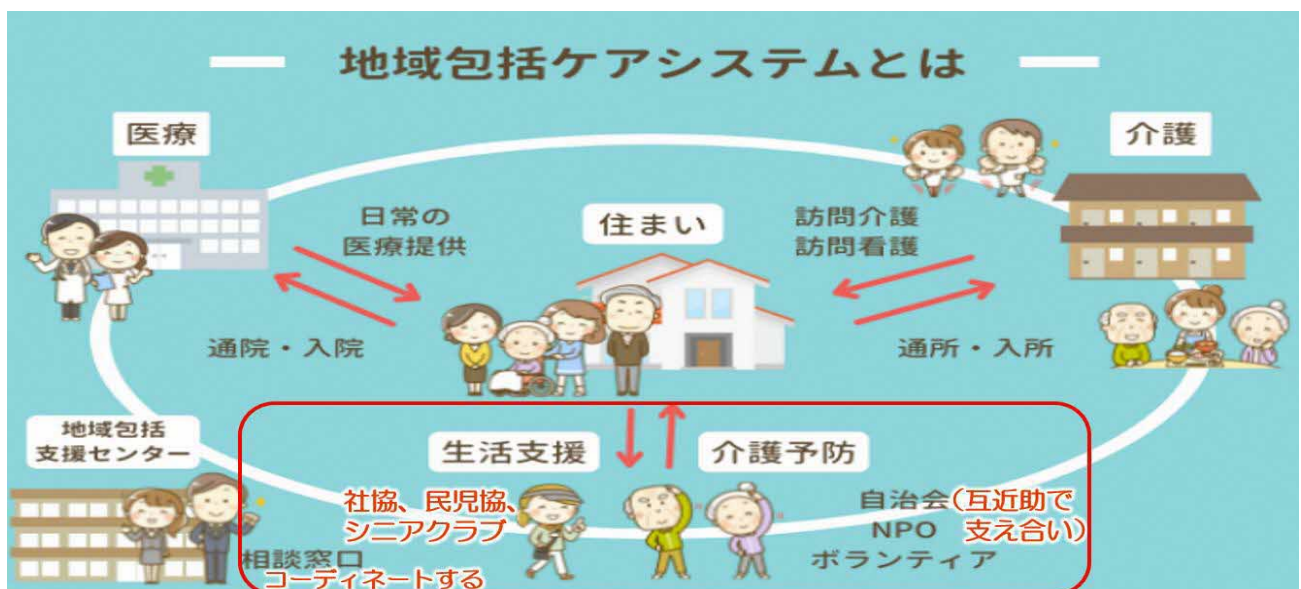
林 sc から閉会の挨拶



和良比小近隣に福祉サービス事業所開設予定

参加の“S”	支援の“S”	相談の“S”
参加する場所・居場所がある地域づくり	生活を手伝ってくれる支援がある地域づくり	相談できる場所がある地域づくり
<ul style="list-style-type: none"> ○気軽に参加できる活動の場づくり ○歩いて行ける居場所づくり ・高齢者サロン、地域サロン ・シニアクラブのサークル ・コミュニティーカフェ ・自治会のサークル ・自宅や空き家を利用したカフェ・・・など 	<ul style="list-style-type: none"> ○ちょっとした困りごとのお手伝い ○助け合いによる家事支援の促進 ・地域のお助け隊 ・住民のための活動 ・住民参加型助け合い活動 ・シルバー人材センター ・自治会によるボランティア活動・・・など 	<ul style="list-style-type: none"> ○困ったときに相談できる人がいる ○身近な場所に相談窓口がある ・自治会や地域の集いで ・地域の施設の協力で ・地域包括支援センター ・民生委員・児童委員・・・など

私たちの地域に3つのSを展開しましょう！



高齢者が重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを最期まで送ることができるよう、医療・介護サービスを地域一体で支援する体制のことで。

【編集後記】

今回も、区・自治会、民生委員、シニアクラブなどから責任ある方々に多数来ていただき有難うございました。支えあいについてのプレゼンでは理解されたかを問うと、“理解できた”とか“とても分かりやすかった”と言ってもらい安心してました。この活動の入口は、支えあい活動についての理解が必須ですから、今後さらに多くの方々に理解していただき、活動を広めていければと考えています

記/調

歩いて行ける所に医療、介護が安心して受けられるように地域包括支援センターがあり、サロンなどに誘い合って楽しく運動したり、おしゃべりをしたり、それが地域包括ケアシステムです。

【発行責任者】

四街道中学校地区生活支援コーディネーター

清水清子 ☎ 090-6482-5831

kiyoko24121@yahoo.co.jp